



2023-2024 Shari Rotary Club Bulletin

- 会長：村田 均 ● 副会長：森田 拓巳、中島 雅幸 ● 幹事：豊島 和敏
- 創立：1963年10月5日 ● 例会日時：毎週水曜日 12:00～13:00
- 事務所：〒099-4112 斜里郡斜里町港町1 ● 例会場：ホテルグランティア知床斜里駅前
TEL(0152)26-7978 FAX(0152)26-7980 〒099-4112 斜里郡斜里町港町16-10
TEL(0152)22-1700
- 斜里 RC 事務局メールアドレス sharirotary@peach.plala.or.jp

第 2947 回例会 2024 年 6 月 5 日 (水)

発行：会報・広報・雑誌委会

点鐘：村田 均 会長

司会：犬伏 常昭 SAA

1. ゲストおよびビジター紹介 ～村田 会長

- ・ (一社) ロータリーの友 記者 山本 朋史 氏
- ・ " カメラマン 工藤 隆太郎 氏

2. ロータリーソング ～国歌斉唱、奉仕の理想

3. 会長の時間 ～村田 会長

こんにちは、今一番身近な問題として、太陽光パネルの知床における問題があります。ロータリーの中ではあまり論議したことはありませんが、斜里町の町づくりのテーマとしまして「緑と人間の調和を求めて」というものです。

これは、ずっと以前から続いておりまして、今回の問題についても斜里町民として一人一人が考えなくてはいけない問題だと思います。

知床におきましては、国有林の伐採問題とか色々あって全国的に話題となりましたが、今回も町といたしましては、もう一度再考していただきたいという要望を山内町長が述べております。また、札幌の北海道の自然保護団体からも反対の声が上がっております。ですから、我々は「知床を守る」ということはどういうことか・・・先ほど申しましたように「緑と人間の調和を求めて」、この「調和」というものを我々はしっかりと考えなくてはいけないんだと思います。

私個人的には、知床という所は「便利ではなく不便だからこそ価値があるんだ」と思っております。知床に行けば電話も通じない自然と対面してその有難さを感じる・・・そのことが知床の大事な要素ではないかと思っております。

会員の皆さまには、先ほど申したように「調和とは何なのか？知床とは何だろう？町づくりとは何だろう？」と考えていただきたいと思っております。



4. 幹事報告 ～豊島 幹事

- ・ 今月のロータリーレート～1ドル：157円です。

5. 委員会、その他の報告 ～村田 会長

- ・ 富樫 親睦活動委員長～親睦委員会からです。5/25 (土) に開催されました「家族親睦ピクニック」には16名の方に参加していただきありがとうございました。
残念ながら参加できなかった方には、6/23 (日) に「JR 釧網線日帰りの旅」を企画しておりますので、もし良かったら是非参加していただければと思います。尚、締め切りは6/10 (月) までとなっておりますので私の方までご連絡下さい。
- ・ 武藤 次年度幹事～今週の土曜日 6/8 (土) 道の駅にて 14:00 より第3回次年度理事会を行いますので関係者はお出席くださるようお願いいたします。

6. 本日のプログラム ～村田 会長

◆ゲスト卓話

◇「ロータリーの友」 山本 朋史 記者

こんにちは、只今紹介していただきました 山本 朋史 と申します。今回は、「ロータリーの友」の「この人訪ねて」という特集記事で丹羽修二さんの取材で昨日東京から参りました。

来るに当たって、丹羽さんから「卓話をしてくれないか」というふうに頼まれてまして、例会で今ここに立たせていただいています。

実は、私は丹羽さんと同じ歳の72歳です。7年前まで「週刊朝日」という雑誌の記者をしておりました。今はフリーランスのライターをしております。

実は、2014年に認知症予備軍であるMCI（軽度認知障害 Mild Cognitive Impairment）と診断されて、今も早期治療に励んでおります。

私は、60歳で朝日新聞社を定年退職して週刊朝日で5年間、1年ごとに契約する社員になりました。61歳になった頃から急に物忘れが激しくなって色んな人の名前が出て来なくなったんですね。

その頃、著名な画家の安野光雅さんと全国を「スケッチ旅行」に行くことが多かったのですが、スケッチ現場に自分のバッグなどを忘れることが度々あって、当時90歳だった安野先生から「山本さん、今度は忘れ物は何かありませんか」というふうに度々心配されました。スケッチ現場に忘れたバッグを取りにタクシーを拾ったことも何回もありました。

このようなミスがずっと続いていたんですけど、私は歳の所為であり気にしていなかったんですね。何故かと言うと、私は毎日記事の原稿を書いておりましたので、文章を書くことによって脳に刺激を与えているので認知症には絶対ならないというふうに思い込んでいたんです。

しかし、インタビューでメモを取るときに簡単な漢字だけではなくカタカナも出て来なくなり、そのようなミスが一層激しくなっていました。

そして、取材記者としては絶対やってはいけない「ダブルブッキング」というのをやってしまったんです。取材の日程を予定表に書き込むのを忘れていて、数日後に以前から予約があった他のインタビューをする相手から「この日なら空いているよ」というふうに言われていたのに遠出してしまったんですね。取材をしている最中に、実はその日に他の日程を入れていた相手の人から携帯に電話が入って来まして「山本さん、どうなってるんですか？今日の予定は」というふうに怒られてしまったんですね。

それで、初めて「ダブルブッキング」に気が付いて、その時は何とか謝って事なきを得たんですけど、こんなダブルブッキングをするようなミスは、40年余りの記者生活で無かったことだけに、すごいショックでした。

（その後、専門医を受診しながら、筋トレリハビリを続けてどんどん快方に向かっているというお話でした）



7. ニコニコ BOX ～富樫 親睦活動委員長

- ・本人誕生祝～藤田（典） 会員
- ・奥様誕生祝～樽見 会員
- ・結婚記念祝～犬伏、村田 会員



8. 出席報告 ～野尻 出席・プログラム委員長

- 本日出席～29名中16名出席（出席率：55%）

☆ 幹事より次回例会の案内

- ・次回は6/12（水）第2948回例会～年次活動報告 part I



世界に希望を生み出そう

2023-2024 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

斜里 RC 会長のテーマ

ロータリーを楽しみながら、
人間力を養おう！